

私のママは年長のときになりました。ママは白くて長いはこの中にねむっていました。とてもきれいで、お花ばたけでねているみたいでした。

私はママがかえってくると思っていました。でもママはかえってきませんでした。私はやっとママがお星さまになったのがわかりました。私はいつもママのおふとんの中でだかれてねるのが大すきでした。そしてママはいつもやさしかったです。

そんなママが、いつも私やいもうとにおしえたことがあります。それはおとしよりやこまっている人がいたらたすけてあげることです。ママは体のふじゆうな人をおふろに入れてあげるおしごとをしていました。私は「どおしごとのようなすをビデオで見せてもらいました。とてもたいへんな

おしごとだと思いました。

でもママはいつもよろこんでいました。なぜなら、おふろに入れてあげた人からおれいをいわれていたからです。「ありがとう。」「おふろきもちよかったよ。」と言われてうれしいきぶんになったそうです。

私は毎日、よる星空を見ます。そしてママにおはなしをします。学校の楽しいおはなしや、妹のことをおしえてあげます。

私には夢があります。それはママといっしょのおしごとをすることです。体のふじゆうな人やこまっている人を、いっばいたすけてあげたいです。お星さまになったママ、私をうんでくれてありがとうね。そして、いつも私のそばにいてね。